

令和5年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第2回） 議事録

日時：令和5年7月28日（金）

午後2時～午後4時

場所：佐久市役所501会議室

【出席者】柳澤副部長、堀内委員、伊坂委員、大工原委員、佐藤委員、秋山委員、原委員、笠井委員、宮澤委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、小林主任、井出主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・ 部長挨拶
- ・ 欠席委員報告（高橋委員、細井委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

質疑、意見

事務局	<p>第1部会では、「第二次佐久市総合計画後期基本計画」の第1章の教育、文化、生涯学習分野、第6章の防災、交通安全、防犯分野、第7章の協働、行財政、交流分野について審議を行い、本日は第1章についてご審議いただく。</p> <p>【第二次総合計画後期基本計画 令和4年度（2022年度）進行管理報告書】</p> <p>うち、「第1章 生涯にわたり学び生きる力を育むまちづくり」「幼児教育」（8ページ）について説明</p>
副部長	<p>幼児教育について、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>アンケートについて、基本的なことをお聞きしたい。アンケートの集計方法として、満足度と重要度の2つの項目について質問をしているのか。</p>
事務局	<p>例えば、この「幼児教育」の分野に対しては、こういった事業が行われていますといった具体的な項目が書かれており、その項目に対し満足度で5段階、将来の重要度で5段階の中から選択</p>

	し、記載いただくようになっている。
委員	大きく2つの項目を質問しているということでしょうか。
事務局	そのとおりである。
委員	「幼児教育」の満足度下落率が50施策中、一番大きい。この下落に対して、所管部署はどのように感じているか。また、進捗状況もワースト3くらいに悪い状況である。満足度、重要度とも平均値よりは高いが、この下落は非常に悪い状況に思う。
事務局	所管部署でも具体的な分析はまだできておらず、このような記載となっている。この「幼児教育」は私立の幼稚園等を対象とした施策であり、市で運営しているものではない。園長会の意見交換で状況を確認するなどして支援策を考えているが、市の運営ではないことから、意見しづらいところがある。
委員	「管理システム」の中で簡易な項目がひとつしか書かれておらず、他は空欄となっている。行革の分野かもしれないが、これに関してはあまり力を入れていないとか、入れる項目がないということか。
事務局	そのような意図ではない。
副部会長	「今後の方針」の記載内容が「引き続き支援します。」といった内容で一つしか記載されていないため、ただ今の意見は、そのあたりについて、もう少し何かを反映すべきであるといった趣旨かと思う。事務局はこの意見等も参考にまとめていただき、何か付記できるものがあれば、していただければよいかと思う。
事務局	「今後の方針」の記載内容をもう少し増やして、満足度を上げられるようにしてほしいといった意見として承る。
委員	「幼児教育」に該当する世代は20代から30代かと思うが、満足度は低く、年代が40代から50、60代になるにつれ、さらに落ち、逆に不満の比率が上がっている。世代によって考え方が違う

	<p>とは思うが、少子化対策にも同じことが言え、「幼児教育」は本来、若い世代の問題であるが、高齢者世代の方が、意識が高く、若い世代の方が、意識が低いといったアンケート結果となっている。幼児教育の経験者である高齢者等の世代と直接関係のある若い世代で、それぞれ思っていることはずいぶん違うのかもしれない。この施策の評価を下げているのは高齢者世代のアンケート結果であるため、そのような年齢層による違いといったものもチェックし、検討してもらいたい。</p>
副部会長	<p>世代によって、満足度指数が極端に違っているといったご指摘である。担当部署と相談し、今度の方針等については、そのあたりをイメージして反映していただきたい。</p>
委員	<p>以前も話したことであるが、1,000人にアンケートを出して、回答者が10代は何人、20代は何人いたといったような年齢層が付記されていると、我々委員としても確認がしやすい。満足度が低くなるといった原因も、それがあれば、もう少しクリアになると思う。世代別の結果といったものがあれば、この世代に対する施策のための検討や手の打ち方といったものも変わってくるかと思うので、お願いしたい。</p>
副部会長	<p>資料の作り方について、ぜひその部分は反映するよう、検討いただきたい。</p>
委員	<p>満足度指数と重要度指数といった質問項目は非常に判断しにくい。どんなふうに答えればよいのかわからない。例えば、参考例を出して、それに対して回答するといったものであればよいかと思う。満足度には個人の差がある。重要度指数も非常にわかりづらい。いくつもの項目を挙げて、そこから選ぶといったものであればよいかと思うので、きちんと答えられるように、良い質問に改めてほしい。</p>
委員	<p>他の審議会でも出た意見であるが、「どちらでもない」といった回答が多くあり、「わからない」や「知らない」といった人も「どちらでもない」に回答してしまっているのが、原因であると考えられる。</p>

副部会長	<p>身近に感じる施策であるかどうかということも大きな問題であるかと思う。質問の仕方も重要ではあるが、この部会における「幼児教育」への意見としては、満足度がかなり落ちている状況にあることから、その原因をきちんと確認し、「今後の方針」については、ただ、「引き続き支援します。」といったものだけで終わらず、さらに施策等を検討していただきたいといったものとした方がよいか。</p>
委員	<p>他県で幼稚園バスに園児が取り残されるといった事件があった。運転手がいるにも関わらず、幼児をバスに取り残してしまった、考えられないことである。このようなことが起きないようにきめ細かい対応をお願いしたい。</p>
副部会長	<p>そのような件については、担当部署で園長会との意見交換等を行っている中で、安定的な運営方法等を検討しているかと思うので、対応等はきちんとされているかと思うが、部会の意見として、それにプラスして、さらなる施策等を検討していただくといった方向を示したいと思うので、お願いしたい。</p>
委員	<p>園長会との意見交換は非常に良いことだと思うが、私立のため、市へ本当のところは言いづらい部分が沢山あると思う。幼稚園等は無償化されたことにより、非常に需要が多いため、入りたくても近くの園に入れず、別の園に行くといったこともあると聞いている。私立幼稚園が言いづらい部分をうまく聞き出し、状況をみてフォローしてほしい。</p>
委員	<p>現在、男性保育士の配置割合はどの程度か。</p>
事務局	<p>各園に1名程度配置されている。</p>
委員	<p>保育園でも事件が発生することが考えられる。女性保育士だけでは大変な面があるから、男性保育士がいればよいかと思い、質問した。</p> <p>また、保育園は職員が足りないと感じている。小学校や中学校の働きかけも必要だが、保育園の現場も大変な面があるから、そ</p>

	<p>こも併せて考えてほしい。</p>
副部会長	<p>入園人数が制限されているところもあるので、これは意見として出させていただきます。</p>
事務局	<p>保育士不足は、佐久市だけでなく全国的にも大きな問題となっている。未満児の入所が増えている状況がある中、保育士の配置基準は厳しく設定されている。保育士不足は市としても危機感を持って力を入れて解決しなければならない問題と認識している。</p>
副部会長	<p>今の意見も含め、事務局には部会が出された意見を審議の報告事項としてまとめ、「今後の方針」に付記していただくようお願いをしたい。</p>
	<p>「学校教育」（10 ページ）について説明</p>
副部会長	<p>学校教育について、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>昨年の部会の中で、タブレット端末の扱いは、先生がリードして実施するための環境を整えるとあった。現在の職員室の Wi-Fi 環境はどうなっているか。</p>
事務局	<p>職員室の Wi-Fi 環境は整えた。</p>
副部会長	<p>職員室だけが整っているのか。</p>
事務局	<p>教室は既に整っており、職員室が最後の整備であった。</p>
委員	<p>小学校の支援教室の子どももタブレット端末をうまく使っているし、IT の知識を学び、使いこなせる力を付けていくといったことは、本当に素晴らしいことであり、感謝している。</p> <p>また、普通教室であっても、支援が必要な子どもが多く、先生が授業を進めてもそれについていけない子どもが多くいて、先生が大変そうである。支援が必要な子どもを見ていると授業が進まないし、授業を進めると、その子を見るできないといったことが大きな課題である。どの子どもも大事な子どもなので、も</p>

	<p>う少し地域のお助け隊のような人に協力してもらえらるような体制があればよいかと思う。プールの授業では、全てに目が行き届かないと命に係ることに繋がってしまう恐れがある。先生の負担を減らすために何か検討していただきたい。</p>
副部会長	<p>様々な新しい環境を整えなくてはならないことから、先生のスキルアップは必要であり、子どもに対しても多種多様な対応が必要であると思う。先生のスキル向上と先生の配置人数の問題等がある中で、これらを解決していくための環境整備が必要であるといった内容でまとめたいがいかがか。</p>
委員	<p>現状としては、タブレット端末を使えない子どもがいても、そのまま授業等は進んでいってしまっているのか。</p>
委員	<p>私の見る限りでは、ほとんどの子どもが使えている。</p>
委員	<p>では、他の面で身につけていないことがあっても、進んでしまっている状況なのか。</p>
委員	<p>そうであり、全員が全て完ぺきといったことは難しい。</p>
委員	<p>タブレット端末は先生より、子どもたちの方がうまく使いこなしているように感じる。今の子どもは小さな頃からゲームをやっているため、その延長線上にあることからあつという間に覚えている。「今後の方針」に教職員のスキルアップとあるが、具体的にどの部署がどう対応し、どの学校のどのレベルの先生を対象としていくのか。</p>
事務局	<p>GIGA スクールを導入した当初に、IT に長けている先生を選抜し、研修を行った後、その先生が別の先生へレクチャーするといったような形をとった。</p>
委員	<p>今後の方針の中に、「教職員のスキルアップ」とあるが、次回からは具体的に、どのような対応をした結果、どのような効果があった、といった内容により記載いただきたい。</p>

副部会長	確かに、先生のスキルアップは重要であり、課題であるといったことはわかるので、次回からは具体的な対応策等が明記されていけば、部会としても判断しやすいかと思うので、事務局にお願いしたい。
委員	先ほどの「幼児教育」もそうであったが、先生は非常に忙しく、手が回らない状況にあるので、新しい対策を出しても手が付けられないことが問題であることから、そこを真剣に考えなくてはならない。文部科学省が示す全国一律の基準といったものは、最低限のベースであり、市としては、それ以上にどう対応していくかを考えなくてはならない。国等の予算の関係もあるかと思うが、国や県が示す最低指標に合わせるだけではいけない。
副部会長	先生の業務は大変であることは確かなことなので、もう少し具体的に対応策等を抽出して、それを掘り下げていけるようなことができればよいかと思う。
事務局	おっしゃる通りで、教員の働き方改革といったものがかなり取り上げられてきている。そのような中、市としては、例えば教員の事務的な部分をサポートする校務支援システムの導入や部活動指導員の配置といったことを実施している。それらで全てが解決できるものではないが、教員の負担が軽減され、本来の学習といった方に力を向けられるような支援をしていきたい。
副部会長	校務支援システムは非常によいと思うので、進めていただきたい。
事務局	教員が県内のどこに異動しても、様式等が一律で使えるものであり、これまでは紙に手書きとしていたものをデータで管理できるため、スムーズな事務を行うことができる。
副部会長	このような具体的な取組みが示されていけばいちばん良いが、なければ、部会として、具体的な対策の充実を図ってもらったことを、意見として付記していただければと思う。
委員	支援員の配置基準について、全児童数に対して何名と決めてい

	<p>るのか、それとも、支援が必要な子ども数に対して何名と決めているのか。支援員の人数が少ないように感じる。</p>
事務局	<p>具体的な配置基準はわからないが、校長会等の意見を聞き、現場の状況等を踏まえて配置をしていると思う。予算の関係や、募集をかけても応募が無いといったことも支援が少ない原因となっていると考えられる。</p>
委員	<p>支援員の6年雇止めといったものは、現在もあるのか。</p>
事務局	<p>過去にはあったが、現在は無い。</p>
委員	<p>部活動の指導員の良い人材が見つからないといった課題があるが、何か対策を講じているか。</p>
事務局	<p>対策は始まっている。</p>
委員	<p>佐久市においても、各種団体、校長等を集めて協議が始まっており、バレーボール、バスケットボール、野球、剣道が試験的にはあるが、計画し実行するところである。県のスポーツ協会においても協議をしているが、なかなか進んでおらず、外部指導者への費用弁償等、細かなところは決まっていない。例えば柔道でいうと、中学校単位だけではなく、道場や他の団体による出場も認められている大会がある。細かな調整等はこれからだが、現在はこのような状況である。また、今後、3から5年間の中で対策を整えようとしているが、それでは卒業してしまう子どもが出てきてしまうため、ある程度は進めていかななくてはならない。</p>
委員	<p>コロナ禍の中で、栄養関係などの子どもの健康状態のことが問題となっている。子どもの肥満の問題等、健康状態というものは、将来にわたり影響し続けるものなので、アレルギーへの対応や血糖検査のことが「今後の方針」で示されていて、よかった。</p>
副部長	<p>「学校教育」の施策はここで終わりとするが、これらの意見をうまくまとめて付記するようお願いしたい。</p>

「高校教育・高等教育」（12 ページ）について説明	
副部会長	高校教育・高等教育について、ご質問等あるか。
委員	「高校教育・高等教育」に入る前に、資料 12 ページの上段に「現状値 (R3)」とあるが、資料 2 ページには同じ内容のところに「基準値 (R3)」とある。わかりにくいので、基準値に統一していただきたい。また、今回の審議は進行管理であるので、平均値と比べるのではなく、目標値 (R8) に対して、どの程度進捗しているのかを確認する場である。
事務局	基準値は総合計画後期基本計画を策定した令和 3 年度時点の数値あり、現状値は令和 4 年度市民アンケートの結果の数値となる。12 ページ上段の「現状値 (R3)」は、本来は「基準値 (R3)」となる。わかりにくく、申し訳ない。
副部会長	訂正をお願いしたい。
事務局	承知した。
委員	成人年齢が 18 歳に引き下げられ、高校 3 年生の時に、投票の仕方といったものが授業に入ってくるかと思う。テレビなどを観ると、実際の投票所でどのように投票するのかや公約と自分の考えなど、様々なレベルの教育が行われている。ただ、本来は、続けて立候補する候補者の以前の公約がどの程度実践されたかといったようなことを学ぶべきであると思う。教育大綱の中では、自主性や創造性、社会性を学んでいくといったことが挙げられている。選挙に関して、自主性を重要視しましょうといったような部分に対して、市として関与はできないのか。
事務局	模擬選挙といったものはできるが、公約のことなど、政治的なことに関してまでは、市として踏み込むことはできない。
委員	このような質問をした背景に、市がパブリックコメントにより意見を募集しても集まらないといったことがあるから、高校生に対して募集をかけたらどうかと思った。今、議員定数の関係で盛

	<p>んに説明会等が行われているが、市民の意見をくみ上げるといったことに関して、高校教育あたりからは、市として関与してもよいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>市ホームページで意見募集をすることになるが、関心のある方しか見ず、その他の方はあまり見ないといった問題の解決のために、高校生の意見を募集する方法としてはどうかと思う。</p>
委員	<p>高校生の意見を集めるために、といったようなことで発言したのではなく、パブリックコメントの意見を集めるための、ひとつの方法としてどうかといったことで発言した。</p>
委員	<p>ここは、パブリックコメントの意見を集めるための方法を協議する場ではなく、「高校教育・高等教育」について、協議する場である。それよりも、野沢北高校と野沢南高校が統合するにあたり、市としてどのような高校にしたいかといったような、意見を聞くことは行うのか。</p>
事務局	<p>基本的に県教育委員会が担当することではあるが、最近、野沢北高校と野沢南高校の統合の在り方を話し合う協議会が立ち上がり、市長が会長となった。今後、県への様々な要望活動を行っていくことになるが、市としても県との連携を密にしながら、考えていく内容である。</p>
副部会長	<p>「課題」には、「高校の再編の動きを注視していく必要」とあるが、注視していく以外には何かないのか。やはり県の事業なので、注視することしかでないか。注視するだけでは、ただ眺めているだけの表現となってしまうので、県と連携し行動していくといったイメージで記載したほうが良いかと思う。</p> <p>これらの意見を付記し、事務局でまとめていただきたい。</p> <p>「青少年健全育成」（13 ページ）について説明</p>
副部会長	<p>青少年健全育成について、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>「今後の方針」に、インターネットに関連した事件が多数見ら</p>

	れるとあるが、どれくらい発生しているのか。
事務局	確認してお答えする。
委員	このような事件が多くなってきているとうことはよく聞くようになった。お金が絡むような事件があり問題になっているので、具体的にどのようなアクションをしていくのか、検討をお願いしたい。
副部長	総合計画審議会であり、具体的なところまではなかなか踏み込めないが、具体的なことが記載されていると、ではどのようにしていったらよいかといったことの検討ができるので、記載内容について検討いただきたい。
委員	中学生海外研修は再開される予定はあるのか。
事務局	すでに再開しており、今週末に英語教育を取り入れたキャンプを1泊2日で開催する予定である。
委員	ジュニアリーダー研修でアメリカには行っているか。
事務局	アメリカへは行かないが、エストニアへ行く予定である。
委員	アメリカに行ってきた方の話を聞くと、世界を見てきて子どもが変わった、感激していたと親がとても喜んでいて。とても素晴らしくありがたい事業であるので、是非続けてほしい。
委員	「今後の方針」に「育成会活動が活発になるよう、模範となる育成会活動の紹介やイベント情報を提供する」とあるので、育成会活動が困難になっている現状からも、是非実施してほしい。
委員	「今後の方針」に「地域の特性を活かした育成会活動」とあるが、地域の特性とはどういったものか。とても良いことをいっているとは思いますが、具体的にはどういったものか。
事務局	確認してお答えする。

副部会長	<p>「青少年健全育成」は佐久市の未来を考える上で、とても重要な施策であるので、そのあたりを強調できるような記載がされているとよいかと思うので、事務局で対応をお願いしたい。</p> <p>「文化・芸術」（14 ページ）について説明</p>
副部会長	<p>文化・芸術について、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>佐久市には近代美術館など博物館が沢山あるが、観覧者が少なくなってきた中で、小学生などの小さい頃から連れていき、親しみをもたせ、面白い場所といった感性を持たせ、特別ではなく、よく行く場所といったようにしていったらよいかと思う。1学期に1度程度、市内の施設を見学するツアーのようなものがあればよい。子どもにとって将来の役に立つと思う。</p>
委員	<p>子どもにとって馴染みの場所であったり、そこに行きたいといった雰囲気が作られればよいかと思うので、意見として付記いただきたい。</p>
委員	<p>美術館は決して面白い場所ではない。大人でもそうであるのだから、子どもは特に興味を持てるようなきっかけを作る工夫が必要である。行ったことのない場所はやはり行きづらいから、小さいうちに一度は見に行くことは重要であると思う。学校の行事の一つとして取り入れてほしい。</p>
事務局	<p>例えば、子どもたちの作品である書道を美術館に展示するなどしたことはあった。</p>
委員	<p>自分の仲間が書いた作品が展示されていれば、美術館に行くきっかけとなるかと思うので、そういった工夫は必要である。</p>
副部会長	<p>近代美術館は他の美術館に比べ収蔵作品が多いので、うまく工夫して、子どもたちにどのような作者の作品があって、どのように展示されているのか、知らしめたり、行ってもらえるための方法を検討することは重要である。</p>

委員	教科書に載っているような絵があると観に行こうというきっかけになるので、そういったところからも繋げてほしい。
委員	お願いであるが、佐久市には市の文化財や県から指定された文化財、国から指定されている文化財の岩村田の「ヒカリゴケ」等、多くあるが、それらの掲示物がかなり傷んできており、見えづらくなっている。グーグルマップでそれら傷んだ掲示物が表示されてしまっているケースもある。また、間違った内容で掲示されているものまである。文化の都市佐久市といっているにも関わらず、佐久市はその程度、と受け止められてしまう。誰からでも観やすいように、また、間違った内容は修正するように、「今後の方針」に追記してほしい。
副部会長	この掲示物の件もそうであるが、市民がより文化に触れ合える機会を作るための方向といったものを、「今後の施策」に取り入れられれば良いかと思うので、検討いただきたい。
	「生涯学習」（15 ページ）について説明
副部会長	生涯学習について、ご質問等あるか。
委員	「令和4年度市民アンケート結果」に「生涯学習に対する市民の関心は低い」とあるが、根拠は何か。私は、そんなに低いとは感じていない。
委員	講座等を開催しても、参加者が少ないといった結果から伺えるものではないか。
委員	近所を見回しても、高齢者はほとんど外に出ていかない。それらに対する対策も考えないといけない。
事務局	コロナ禍が終わり、公民館活動等が開催され始めていることから、周知をすることにより、だんだんに関心が高まっていけばよいかと思う。

委員	福祉の施策とのリンクも必要になってくるかと思う。
委員	市広報紙のお誘いカレンダーを見ても、魅力ある講座等が減ってきているように感じる。
委員	生涯学習というと、どうしても 65 歳以上の方を対象とした講座等が多い気がする。もう少し、現役世代が働いた後、帰りがけに寄っていけるような何かを考えてみることも必要かと思う。
副部会長	高齢者向けの講座ばかりでなく、若いうちから働く以外にも様々な学習に触れられたり、行動できる機会があるといったことは、それがその人が高齢者になっても繋がっていくことであるかと思うので、若い人たちも対象となるような内容を検討することを、意見として付記していただきたい。
委員	若い世代は「それどころではない」といったこともよくわかる。ただ、そういった観点で取組み続けていくことも必要かと思うので、意見として付記していただきたい。
委員	この施策は生涯学習課がメインの窓口になるが、いろんな部署とセクションしないと成立しないことである。
副部会長	生涯学習を進めていくには、福祉や教育委員会など様々な部署がまとまって対策を打ち出していないと難しいかと思う。今回求める、いちばんの元になることかもしれない。
委員	生涯学習という言葉自体が暗い感じがするので、変えてみることも必要かと思う。
副部会長	これら意見は重要なことが多いので、是非工夫して、意見として付記いただくようお願いしたい。
	「スポーツ」(16 ページ) について説明
副部会長	スポーツについて、ご質問等あるか。

委員	<p>これまでコロナ禍の影響はあったが、スポーツ教室等の評判が非常に良く、かなり人数は増えてきているので、今後はさらに競技人口は増えてくると思う。</p> <p>また、いちばん心配される問題として、施設の老朽化がある。市では年度を決めて、老朽化への対応を計画していると聞いているが、はっきり見えないところがある。最終的に体育施設を減らしていくといったことも情報として入っているが、その辺りは、地域の皆さんと話を決めていかななくてはならない。地域の人と話をし、それから決定するといった方針にしないと問題になる。それと稼働率も重要であるので、そこも考えて計画を立ててほしい。また、緊急を要する修繕等は緊急に直し、計画的な修繕を予定しているものは、予算を削らずに対応してほしい。どうしても、予算が無いということで、先送りされてしまうことがある。その辺りは、補正予算等で対応し、スムーズに計画通り対応してほしい。</p>
副部会長	<p>体育施設も含め、公共施設全体を計画通りに進めていくといったことは理解できるので、きちんと対応いただきたい。</p> <p>また、「今後の方針」の中に「指定管理者や関係団体と協議しながら、計画的に整備を進めます。」とあるが、この中に「地域」も含め、進めてほしい。</p>
委員	<p>モンゴルとの交流の中で、モンゴルの議長からスポーツを通じて子ども同士の交流を進めていきたいといった話を聞き、今後、これについて調印をする予定である。このような中、ホームステイを受け入れる家庭が必要となるが、コロナ禍の影響があったことから、受け入れは難しいと考えている。ただ、日本の文化を学んでもらいたといったことを重要視しているので、進めていきたい。</p> <p>それと、10月に予定している佐久平ハーフマラソンについて、今回が第1回目の開催となることから、必ず成功させなければならない。1回目がダメなら、2回目以降もダメになる。予算をケチってはいけない。このようなあたりを、今盛んに協議しているところである。</p>
副部会長	<p>ただ今、発言のあった他国との交流について、また、先ほどの、</p>

<p>委員</p>	<p>地域との協議といったところを部会の意見として付記していただくということでよいか。ホームステイの受入れについては、所管部署と協議いただければと思う。</p> <p>いずれにしても、他国との交流が進むと、ホームステイの受入れも進んでいくかと思うので、他国との交流を検討に加えていただければと思う。</p> <p>スポーツ課で所管する体育施設について、避難所として使わなくてはならないところについても今後は廃止していかなくてはならないといった話がでてきている。今後、体育館を造ったり、維持する際に、天井が高く総合的な競技ができる体育館としなければいけないのか。バレーボールやバスケットボールのように高い天井を必要とする競技については、そういった施設を統合し、柔剣道や卓球のように低い天井でもよい競技であれば、それらの施設を統合するなど、防災や健康管理分野の所管部署ときちんと話し合っって規模を小さくし更新していく等、必要なところにお金を使い、余った分はスポーツに活用するなど、そういった方面での検討をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ギャラリー席を設ける必要があるから極端に低い天井にはできないが、設計的には今の高さより下げることは可能であり、費用もその方が安くなる。</p>
<p>副部会長</p>	<p>全ての施設を造るわけにはいかず、様々なニーズがある中で検討しながら進めているはずである。ただ今の意見は確かに必要な考えであるかと思うので、そういったことも考慮して進めてほしい。</p>
<p>副部会長</p>	<p>「人権尊重社会」（17 ページ）について説明</p> <p>人権尊重社会について、ご質問等あるか。</p> <p>【意見等なし】</p>
<p>副部会長</p>	<p>人権尊重社会については、このような方針で進めてほしい。</p>

	<p>「男女共同参画社会」（18 ページ）について説明</p>
副部会長	<p>男女共同参画社会について、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>R 4 市民アンケートの男女別の集計結果で、男性の方が、不満が多いが、なぜか。不満の率が女性は 10%、男性は 13%である。逆に満足度は男性の方が多。また、今後の方針の中に「女性委員の登用率を上げる」とあるが、審議会委員の登用率を上げるということなのか、それとも何かを企画立案する段階で登用していくのか、といったところが見えづらい。</p> <p>現在、企画課の女性職員は何人か。</p>
事務局	<p>正規職員は 1 名である。企画部全体だと大勢いる。</p>
委員	<p>企画部全体といったものは関係なく、企画といった職種、つまり、企画、政策の立案をする段階で、女性が話し合いに参加するといったように、比率を変えていかないと、方針を決めていきづらいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>市長の選挙公約の中に、審議会における女性の登用率を上げるといったものがある。以前は長野県内 19 市中、最下位であったが、去年は 2 位まで上昇した。総合計画審議会においても、多くの女性に参加いただいている。ただ、各団体からの選出委員は、代表の方が多いため、どうしても男性が多い状況である。代表の方でなくてもよいので、女性を選出いただき、女性の意見を聞いていきたいと思っている。</p>
委員	<p>国際会議でも日本の女性の率は低く、先日のサミットにおいても日本のみが男性の代表を出しており、そういった土壌から変える必要がある。</p>
副部会長	<p>そのような意識を持ち、継続して進めていくことが必要である。各関係団体からの女性選出については、その団体自身の具体的な話になってしまうので、見直すことは難しいかとは思いますが、このような方向で、取組んでほしい。</p>

「青少年健全育成」(13 ページ) への質問に対する回答	
事務局	<p><b>【質問】</b>「今後の方針」に、インターネットに関連した事件が多数見られるとあるが、どれくらい発生しているのか。</p> <p>長野県全体の数値であり、さらに青少年に関係する犯罪に特化しないものにはなるが、インターネット不正アクセス等の犯罪件数が、令和2年が93件、令和3年が135件、令和4年が163件と全体的に見て、一定程度増加傾向にある。佐久市の対策としては、教員や警察官のOBといった専門の補導員が学校へ訪問し啓発活動を行ったり、商業施設を巡回し声掛けを行うなどしている。</p>
事務局	<p><b>【質問】</b>「今後の方針」に「地域の特性を活かした育成会活動」とあるが、地域の特性とはどういったものか。とても良いことをいっているとは思いますが、具体的にはどういったものか。</p> <p>地域の育成会活動に補助金を出しており、具体的には、望月の榊祭りの松明づくり、岩村田祇園祭りの灯籠づくり、野沢の横笛保存会の保存活動等があり、このようなものが地域の特性であるといったニュアンスにより記載をしている。</p>
副部会長	<p>この他に、何か意見や質問等あれば、個別に事務局へ聞いていただきたい。</p>

(2) その他  
特になし

### 3 閉会

(確認事項)

○2ページ 「幼児教育」の満足度の分析について

・今後、今回の満足度の大幅な下落を考慮したうえで、私立幼稚園との意見交換等を実施し、その中で満足度下落の要因を見極めながら、幼児教育施策を展開していきます。

幼児教育は私立幼稚園に対する施策であることから、満足度下落の要因については私立幼稚園と一緒に分析を行う必要があります。そこで、私立幼稚園との意見交換会において本件についてお伝えした上で、下落の要因等を一緒に見極めながら、今後の施策を展開する予定です。なお、今年度の第1回意見交換会は春に開催済みであり、第2回目の交換会の開催は現在調整中ではありますが、この第2回目で意見交換をする予定です。